

様式

技術名称	D・BOX工法	技術の分類	工法	NETIS登録の有無 (有場合はNETIS番号)	KT-100098-VR
会社名等	株式会社 ホクコン	担当者	西岡 義博	連絡先	052-419-1010
技術の概要	D・BOX工法は、内部拘束具を備えた大型特殊土のう袋内に碎石等を投入し、袋と内部拘束具の張力を利用して粒子間摩擦力を増大させ、土構造体としての強度増加と形状保持を可能とし、地盤に設置したD・BOX上面を加圧・貫入することで局所的圧密を促進し、直下にある土粒子を拘束しながら過剰間隙水圧を集めて消散させ、地盤支持力の増加を図ることで、地盤補強効果、液状化抑制効果、振動低減効果等の多様性をもつ工法です。	対象者	<input checked="" type="checkbox"/> 国土交通省職員 <input checked="" type="checkbox"/> 港湾管理者 <input checked="" type="checkbox"/> 一般(施工業者・コンサルタント等含む)		
		添付資料	パンフの有無	有	
その他の資料					
技術の特徴	①構造物構築前に地盤に加圧・貫入させ、粘性土地盤で粘着力の増加、砂質土地盤でせん断抵抗角の増加を可能とし、圧密沈下をほぼ一定状態に持ち込む。 ②土のう袋は通水性を有し、加圧・貫入や液状化による過剰間隙水圧の上昇に伴う噴砂・噴泥を防止するフィルター効果を有する。 ③交通振動や地震動等の外部振動エネルギーを粒子間摩擦力で吸収し、振動低減効果を有する。 ④含水比が高く歩行が困難な地盤や掘削面に水位があっても、ウェットな状態で短期間施工を可能とする。 ⑤碎石等の自然素材を用いることで、土質や水質等の環境に配慮した施工を可能とする。 ⑥特殊な重機を用いず、汎用性のある建設機械での施工を可能とする	その他			

※複数の技術について発表をご希望の場合は技術ごとに記載願います。